

言葉は親子の ふれあいから

子育て伝言板

鷺別保育所長 波多野 習子

子どもが成長する上で、『言葉
を話したり聞いたたりすること』は、
『歩行すること』とともに、とて
も大事なことです。

子どもは、『話すこと』より先
に『聞くこと』を覚えるので、生
後10カ月ころに犬や車を指差しな
がら、「ワンワンだよ」「ブーブ
ーだよ」と話し掛けると、子ども
はその方向を見るようになります。

また、「お口は?」「お鼻は?」
と問い掛けると、子どもは大人の
期待に答えられるうれしさを感じ
ながら、自信たつぷりに指差しして
教えてくれます。

このようなしぐさは、大人の問
い掛けを理解し、言葉を基礎とし
たやり取りができた証しですが、
話し掛けをしないと、子どもはい
つまでたつても上手に話すことが
できません。

話し掛けや指差しなどを続ける
と、子どもはそれに反応し、より
具体的に相手に伝えようとするの
で、その気持ちをしっかりと受け止
めてあげることにより、子どもは
自分の思いが伝わる喜びを実感す



るようになります。

1歳ころになると、「ゴニョゴ
ニョ」などと、理解できない言葉
を話すようになるので、大人は子
どもと視線を合わせ、「うん」
「そうなの」などと相づちをうち、
理解できる言葉には、同じことを
言っただけだと、子どもは言葉で
伝えようと話し掛けてきます。

言葉の芽を育てるためには、単
語を増やすのではなく、自分の思
いを人に伝えたい気持ちを育てる
ことが必要。大好きな人と喜びや
感動を分かち合う楽しさを実感す
ることが大切です。

子育て中のお父さんお母さん。
時間を見つけては、子どもと絵本
を読んだり、一緒に遊んだり、話
し掛けたりするなど、子どもとの
ふれあいを大切にしましょう。

▼問い合わせ 子育てグループ

(☎) 5634

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

鷺別太極拳

『鷺別太極拳』は、市の公民館
講座で太極拳を学んだメンバーを
中心に、平成5年11月に結成され
ました。

現在、会員は40歳代から70歳代
までの女性38人。毎週金曜日の午
後、鷺別公民館に集まり、(社)日本
武術太極拳連盟公認普及指導員の
千嶋華代子さんの指導のもと、太
極拳の練習に励んでいます。

「太極拳は、意識や動作、呼吸
が一緒になった全身運動。ひざを
曲げ、腰を沈めて、重心を一定の
高さに保ち、呼吸を合わせながら、
精神を集中します。円を描くよう
な、ゆっくりとした動きが特徴で
す」と話すのは、代表の大崎恭子
さん。

「動きはゆっくりですが、練習
が終わるころには、心地良い汗を
かき、体が軽くなったような気分



太極拳を通して、わたし
たちと健康づくり・仲間
づくりをしませんか



になります。脚力アップや寝たき
り防止にもなるなど、健康にもい
いですよ。年齢を問わず、誰でも
気軽に始められる太極拳を通して、
わたしたちと一緒に、健康づくり
仲間づくりをしませんか」と大崎
さんは、会員を募っています。

平成15年10月に入会した村上美
和子さんは、「以前から太極拳に
興味があり、友人からこの会のこ
とを聞いて入会しました。講師の
先生や会員の皆さんは、初心者
のわたしにもやさしく丁寧に教
えてくれます。会の雰囲気も明るく和
気あいあい。新しい友人もたくさ
んできました。練習を休む会員は
少なく、わたしも、毎週、練習日
が待ち遠しいです。健康のため
にも、末永く続けていきたいです
ね」と笑顔で話してくれました。

入会を希望される方は、大崎さ
ん(☎) 5222)までどうぞ。